

や お し じゅうみんお だ さらちか す か こうげき
八尾市は、住民追い出し=更地化のための住み替え攻撃をやめろ

ふ く し す か い ま おこな

「福祉住み替え」を今すぐ行え



じゅう か ん い
住管に行こう
17日ひる2時

9月29日橋下打倒闘争、支部・八尾北労組
など450名が大阪市役所から梅田までデモ

や お きた あつ くだ
八尾北に集まって下さい

9・19 住宅裁判で「福祉住み替え」
をやらない八尾市を徹底弾劾

高齢者や足の不自由な住民が1階かエレベーターのある棟への住み替えを求める「福祉住み替え」は生きるための切実な要求です。最優先でやるべきです。しかし八尾市は住民の「福祉住み替え」の切実な声に耳を貸しません。福祉住み替えをせず、更地化のために住民が死ぬのを待っています。絶対に許せません。9月19日の住宅闘争裁判の証言でもこのことを暴き、八尾市を徹底的に弾劾しました。

いのち けず おも まいにちかいだん のほ お
命を削る思いで毎日階段を上り降りする住民をいつまで待たすのか

いま八尾市は、団地をカラにして、つぶして、更地にするための「第1グループ」である、6・7・8・12・13号館、店舗付住宅1・

2・3号館の住民を対象に、頼みもしないのに機能更新のための住み替え募集。住民追い出し攻撃を執拗にかけています。ちなみに、住み替えれば家賃は2〜3倍になります。機能更新の場合、激変緩和措置で家賃は6年間かけて値上がりしていくと言いますが、八尾市はその全体像を住民に説明していません。

や お し やくそく まも とう あ
八尾市は約束を守り、33棟の空き
部屋を福祉住み替えに使え

しかも、今回の住み替え（追い出し）募集は20戸もあり、そのうち15戸は、耐震補強工事が終わったエレベーター付きの33棟です。住宅管理課は、今年の6月の交渉においても「33戸ある33棟の空き部屋は、改修が出来るだけ福祉住み替えにまわす」と約束していました。全く話が違つ。八尾市・住宅管理課は、今すぐ、33棟の募集を「福祉住み替え」に使用。さらに今回の住み替え（追い出し）募集には、「高齢者・障がい者等世帯向け」として、2戸の住宅が募集されています。これは更地化のために、「第1グループ」の福祉住み替えは、一般の福祉住み替えとは別枠（あくまでも、更地化攻撃の枠）で最優先すると言つ、とんでもない分断攻撃であり、許せません。

じゅうみんころ や お し ゆる
住民殺しの八尾市を許さないぞ！
や お し こうしやう
八尾市交渉に行こう

今年8月、福祉住み替え交渉の最中にAさんが、亡くなられました。Aさんは、4階までの階段の上り下りがしんどいので福祉住み替えを申込んでいましたが、住み替えが実施されず、ムリが重なって寝たきりになって入院されていました。本当に残念で、悔しくてなりません。責任は人の命を優先せず、応能応益家賃制度、住民追い出し・更地化攻撃を一方的に進めている国と八尾市の新自由主義攻撃にあります。Aさんは、国（裏に続く）



全国水平同盟西郡支部
八尾北医療センター労組

全国水平同盟に入ろう
連絡先：八尾市桂町6-18-20
電話・FAX：072-991-7729
ブログ <http://nisigoorisibu.cocolog-nifty.com/blog/>
Eメール: zensuidomei@yahoo.co.jp 100/8刊

と八尾市に殺されたも同然です。

17日一緒に住管に行こう

住宅追い出し弾劾裁判を闘いぬく供託者を先頭に、西郡住宅闘争は、ムラの団結と共同体・コミュニティを取り戻し、二度とAさんのようなことを繰り返させない闘いです。

10月17日、ひる2時、八尾市・住宅管理課に抗議に行きます。

約束を守らせ、1日も早く福祉住み替えを実現しよう。

はしもとだとうつうそう

9・29橋下打倒闘争に全国から450名が決起

せんこくろうどうつしやそつつけきしゅうかい ひびややあん

11・3全国労働者総決起集会(東京日比谷野音)に結集しよう



9月29日橋下打倒集会は、大阪役所前に450名が決起。全国水平同盟は西郡、杉並支部が参加。岡部委員長が決意表明(写真)「不当労働行為を認めながら解雇撤回の無い9・25動労千葉鉄建公団訴訟反動判決を弾劾する。不当解雇撤回の10万人署名を直ちに全力で取り組もう」、「11・3労働者総決起集会に結集しよう」と呼びかけた。

9・19西郡住宅裁判闘争

3証人が八尾市を徹底弾劾!

16年間、供託を続け、強制執行や差押えなどの団結破壊をうち破つて闘ってきた西郡住宅裁判闘争は、9月19日、最大最高の山場として、住民側3人の証人尋問を闘った。

大阪地裁202号大法廷で開かれた10家族の住宅明渡弾劾裁判は、全国水平同盟西郡支部・

杉並支部、八尾北労組、守る会共闘の労働者の怒りの総決起が勝ちとられ、100席を越える傍聴席は埋め尽くされた。最初に証人に立った末光八尾北医療センター院長は、応能応益家賃制度がいかに家族をバラバラにし、若者を追い出し住めなくするか具体的に突きつけ、八尾市代理人に「知ってるのか!」と突きつけた。代理人は思わず「それぐらい知ってます」と答えてしまい、うろたえ「あなたは聞かれたことに答える。私が質問するんだ」と必死で取り繕ろう。反対尋問は破産した。

非正規職撤廃と一体で闘う

続いて二千万青年労働者の立場で証言に立った佃文弘西郡支部青年部長は、「運送会社で働く西郡支部の青年が懲戒処分を受け、これに反対して関西合同労組に結集して闘っている。



9月19日大阪地裁前、杉並支部が持参した檄布を中心に意気高い西郡支部・八尾北労組・守る会の仲間。

私も青年部長として非正規職撤廃と一体で住宅闘争を最後まで闘う」と誇り高く証言した。

みんなが運動して建てた住宅をつぶすことは許さない!

最後に証言に立った87才の島瀬とよ子さんは、最初に「私はなくなった大北昌和の母親です。昌和の遺志を受け継いで最後まで闘います」と宣言。「応能応益でムラから若者が出ていかなるをえなくなった。激しい祭りができなくなつて寂しい」、「八尾市は私を追い出して住宅を空にし更地にしたいと思ってる。みんな運動して建てた

寺尾判決39年糾弾!
狭山第三次再審闘争勝利!

10・31全関西狭山集会

10月31日(木)よる7時
西郡第3集会所

住宅をつぶすなど絶対に許さない。夫は住宅建設のために何度も東京や八尾市との交渉に行つた。そのため夫はクビになり、私が残業して家計を支えた」と怒りをこめて証言。「これから一緒に闘う」と力強く決意を語った。この迫力に八尾市は一切反論できなかった。3証人は、八尾市による住宅追い出し、西郡更地化攻撃の不正義性を暴き出し弾劾した。次回11月21日に最終弁論が行われ結審する。住宅闘争は新自由主義と闘う全労働者・住民の課題です。一緒に闘いましょう。